

今年は、例年より早く梅雨入りをし、災害の発生しやすい時期になりました。

平成30年7月豪雨では、土砂崩れや市街地の浸水などの大きな被害がありました。

また、昨年の7月29日には府中市で1時間雨量59mmという観測史上最大の豪雨を観測し、まちの中心部でも水路があつという間にあふれ、道路冠水や床下浸水が発生しました。

災害はある日突然やってきます。いざという時にあなたは適切な行動ができますか。大切なのは日ごろからの備えです。

特集 ある日突然起くるかもしれない災害への備えを

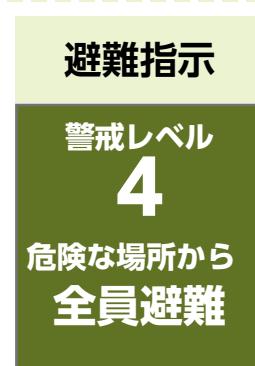
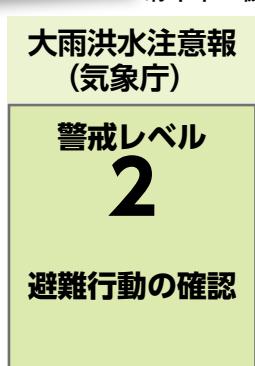
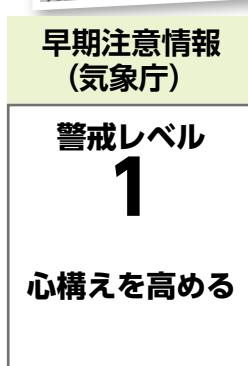


平成30年7月豪雨による
府中市の被災状況

注目
ポイント

問い合わせ先
危機管理室（☎ 43-7211）

避難情報の名称が変更！
避難勧告が廃止されました



低

危険度

高



市長 小野申人

内水浸水・市街地浸水への取り組みを進めています

平成30年7月豪雨では、市内各所で内水による床上や床下の浸水が起きました。被害の大きかった中須西之町や、芦田川右岸地域の緊急対策として、固定式大型ポンプや可搬式排水ポンプの導入を行いました。さらに、浸水の原因究明と解決に必要な抜本的な対策を講じるため、有識者、国、県、関係町内会などで組織する府中市浸水対策検討委員会で議論を行った結果、中須排水区における下水道雨水計画の見直しによるポンプ機能の強化や、芦田川右岸地域での、可搬式排水ポンプの即応性向上に向けた検討と効果的な運用マニュアル作成などを進めていくことにしました。

また、令和2年7月には短時間豪雨による浸水がありました。この対策として、目崎出口線の浸水箇所から出口川への排水路を調査し、また元町地区・中須中之町地区では既存の排水路・用水路などの状況調査や排水能力を確認し、地元の皆さんとの意見を聴きながら、市街地排水路改善対策に努めます。

